

桜がピンチ!

クビアカツヤカミキリ...



©森林総合研究所

中国ではモモやスモモの大害虫で、日本では2012年に愛知県での確認以来、各地で見つかりはじめました。並木の桜、農園のモモやウメの木が弱ったり枯れたりして被害が広がっています。東京でも一部の地域に侵入し、対策がはじまっています。

- 成虫は6月下旬~7月ごろに現れ、2週間以上生きます
- 幼虫は木の中で木の皮の内側を食べて2~3年かけて成長します



カミキリムシは、ほかにもいるのに、なんで困っているの?

これまで日本には桜やモモなどを枯らすようなカミキリムシがいなかったから問題なんじゃ



被害の状況



2016年7月11日



2017年6月29日



は葉っぱが、ぜんぜんなくなっちゃったね!

幼虫のいる木の 中を見ても...
木の皮の内側が スカスカ!
鱗として 食べた跡
幼虫が冬越しするときや 蛹になるときにあげた穴
©植物防疫所

木の皮のすぐ内側には、栄養分を送るだいな管があって、幼虫がたくさん入って食べてしまうと、いずれ木が弱って死んでしまうんじゃよ

見つけたら大人にしらせよう!

クビアカツヤカミキリのフラス



木の根元近くを注意してみてね!



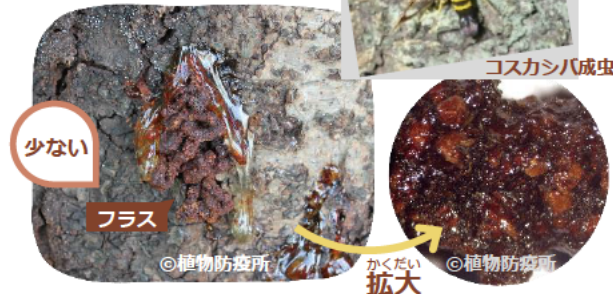
©植物防疫所

©植物防疫所

幼虫が、ひき肉みたいなフラス(木くずとフンの混ぜざったもの)を穴から出すのが目印なんだって



よく見るとちがうね! コスカシバ



少ない

フラス

©植物防疫所

かくだい 拡大

©植物防疫所

コスカシバというガの幼虫もフラスを出すんじゃが、見かけも量もちがうんじゃ

